

# 育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内  
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

## 【児童・生徒の教育相談】

- \* 相談日・時間  
土・日曜日及び祝日を除く毎日  
AM9:00～PM5:00
- \* 場所  
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105（直通）  
(秘密厳守)

## 【青少年の生活相談】

- \* 相談日・時間  
原則として月・水・金曜日とします  
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- \* 場所  
千曲市役所 戸倉庁舎 3階  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）  
(秘密厳守)

### 今月の家庭の日 10月21日（日）

さわやかな秋の季節に、テレビやゲーム機などのスイッチを切り、家族でスポーツに汗を流したり、読書に親しんだりして家族のふれあいを深めましょう。

### メールでも相談をお受けします

(24時間受付)

E-mail: [youth@city.chikuma.lg.jp](mailto:youth@city.chikuma.lg.jp)

相談員がメールでお答えします。

(秘密厳守)

## 非行少年に対する立ち直り支援

千曲警察署生活安全課長 松本 徹

☆少年非行の現状と立ち直り支援の必要性  
平成二十九年中、県内で検挙補導された非行少年は、四八二人で、前年に比較して五四人減少し、統計を取り始めて以来過去最少数となるとともに十年前と比較して約三割にまで減少しました。だから安心して良いかという点、そんな単純なものではなく、検挙した刑法犯非行少年のうち再非行率が約三割を超えており、少年達の非行は回を重ねるごとにエスカレートし、より凶悪な犯罪に手を染めるようになる傾向であることから、非行を犯した少年が、今後再び非行を犯すことのないように少年や保護者に警察側から積極的に声をかけ、面接、スポーツ活動、農業体験、学習、就労支援等して立ち直りを支援する活動を現在展開しております。

☆被災地復興ボランティアとして  
今回、寄稿させていただくにあたり、今から七年前に勤務していた警察本部少年課当時の立ち直り支援活動をご紹介します。今から七年前の平成二十三年三月十一日、日本は未曾有の災害に見舞われました。宮城県沖の太平洋を震源とする東日本大震災、多くの方が津波等により命を落とされました。私も宮城県に災害応援として派遣され、その光景に言葉を失いました。勤務につきながら、改めて時間・命を大事にしようと思いました。その経験から「過去に非行を犯した少年達にその光景を見てもらい、何かを感じ取ってもらいたい。その『何か』というのは、それぞれ違っていても必ずや今後の少年達の人生のためになるのではないかと考え、被災地に少年達を連れて行き、復興ボランティア活動を行うことにしたのです。

非行少年の立ち直り支援活動としての被災地復興ボランティア活動は、全国初の試みであり、場所の選定、交通手段、宿泊費用、活動内容等決定に至るまでには、警察の力だけでは到底足りず、関係機関、団体のお力添えをいただき、ようやく実現することになりました。

☆被災地宮城県へ  
活動の地は、震災から七か月が経過した宮城県仙台市となり

(次ページへ続く)

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！  
— うれしいな家族そろった読書の時間 —

少年達は七名が集まりました。声をかけた少年は、以前自転車やオートバイを盗んだり、中には同級生に暴力を加えて傷害で逮捕された者もいました。移動は警察官運転のバスで、長野から八時間かけて行きました。最初に石巻市の復興途上の様子を見学し、地元の方から震災時の話をお聞きし、黙祷を捧げました。移動のバスの中では、笑い声の絶えなかった少年達もこの頃になると目の色が劇的に変わっていました。翌朝から仙台市宮城野区の津波により倒壊した家屋がそのままになっていたり、解体が終わる更地になっていたりする場所で、瓦礫や伸び放題になっている草の撤去作業が主な活動となりました。作業が始まると少年達は、皆おしゃべりすることなく一生懸命に作業に取り組んでいました。途中、近隣に居住する区長さんが少年達にやさしく話しかけてくれたり、作業している土地の関係者が少年達に感謝の言葉を伝えながら、一人ひとりと握手をしてくれたりしました。少年達が感動しているのが外目からもはつきりと分かりました。少年達は、今まで生きてきて怒られたり、邪魔者扱いされたりすることはあっても、自分達がやったことに対して感謝されたことがなかったのではないでしようか。少年達は心底喜んでおり、充実感に溢れていました。

☆終わりに

この活動以外にも陶芸体験、農業体験、もう一つの被災地栄村での雪かき作業等の活動に従事しました。活動に参加した少年が七年経って、果たして今、何をしているのか私は知りませんが、風の噂でそのうちの何人かが就職したとか、あるいは結婚したとかと聞きます。非行を犯した少年達にも諦めず声をかけ続け、社会全体が温かい目で見守り、手を差し伸べる事が立ち直りの一助となることを信じて、共に活動してまいります。

## ～ 9月の補導委員会議より～

9月3日に、定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

1. 千曲警察署生活安全課より
  - ・上半期、市も県も万引き・自転車等などの犯罪は減っている。
  - ・新潟の事件を受けて：通学路の緊急点検を実施…巡回で上がる地区の危険箇所情報もいただけたら。
2. 「青少年の非行・被害防止強調月間」実施結果の報告
3. 7月末現在の声かけ認知状況について：千曲市では7月に2件。青パトによる補導活動で対応。
4. 7、8月の補導日誌からの報告：酷暑の日が多く、子ども達は外で遊んでいない。穏やかな期間。
5. これからの巡回。11月は環境チェック活動2回、12月は定例巡回に含めお祭り(大頭祭)特別巡回も。  
※11/5～11/9：環境チェック活動：抽出したお店に、青少年健全育成へのお願いや環境チェックに訪問。  
11/15～11/21：必須店舗実態調査活動：カラオケボックス・ネットカフェ・書店・コンビニ・スーパー・ビデオDVD等の販売店に、年1回「青少年に有害な地域環境実態調査」のため訪問。



## 補導日誌から



### 雨上がりの晩の笑顔（千曲夏祭り）

8月11日（土） 6:30pm～8:30

更埴庁舎に集まり、屋代駅に向かいながら夏祭り会場を見て回りました。猛暑が続いた後の雨上がりの晩でした。会場はわりと涼しく、小さい子からお年寄りまでたくさんの方が、屋台、イベント、踊りを楽しんでいました。スイカ割り、相撲、と何でもありの会場でした。信州ブレイブウォリアーズのトークショーは人だかりが絶えませんでした。小さな子どもが背中に光る羽を着けて歩いていたのが印象的でした。商店街の一部も解放されていました。駅構内、交番、桜堂公園や桜堂公民館と、会場周辺を巡回し、会場内をもう一度回りました。祭りも終わりに近づき、落ちたゴミをいくつか回収しました。

### 賑やかになる祭り（屋代ヨイヨイ）

8月12日（日） 7:00pm～9:00

午後7時に須々岐水神社に集合、歩行者天国を中心にパトロールを開始しました。祭りも年々賑やかになっており、多くの人達が参加し混雑していました。若い人たちの参加も多く、子ども達が元気に走

り回っているのが印象的でした。ただ、神社裏に駐輪している自転車に鍵がかかっていない自転車が多くあり、気になりました。服装の乱れた女子高生と出会いましたが、注意すると素直に直してくれました。全体的には、特に問題になるようなことはありませんでした。

### 穏やかな日々が続いているようです

8月23日(木) 5:00pm~7:00

更級小学校区を巡回するも、子どもの姿は見あたりませんでした。時間があつたので、上山田小学校区も巡回しました。三本木公園では、母親が見守る中で子どもが遊んでいました。最近何か気になることはありますかと聞いてみましたが、問題はありませんとのことでした。戸倉駅も人がほとんどおらず、駅員さんに何か問題になっていることはありますかと聞いてみましたが、問題の発生も無く、そういった情報も聞いたことがありませんと回答でした。

### やはり子どもは元気です

8月24日(金) 5:00pm~7:00

台風後で風は強く、むし暑い日でした。屋代駅の駐輪場を2カ所見た結果、放置らしき自転車が3台ありました。屋代駅前交番に挨拶に行き、その自転車の件を伝えてきました。科野の里ふれあい公園では、男女7人が風が吹くなかを元気に遊具で遊んでいました。中村池公園は、台風後のせいか子どもは一人も見かけませんでした。杵の里スケッチパークを回るころには、私達も暑さが身にしみ体がだるくなってきました。土口の沢山川親水公園では、小学生の仲間7人で暑いなかサッカーをした、という女の子の話の話を聞きました。熱中症に気をつけてと声かけをしました。

### 心動かされる部活動の姿

9月6日(木) 4:00pm~6:00

屋代中学校でのことです。午後5時半頃校内を歩いていると大きな声が聞こえてきたので、女子中学生2人に今の声は何ですかと聞いてみました。部活の終わりの挨拶だと教えてくれました。皆さん先生の前に集まって話をした後、大きな声で終礼の挨拶をしていました。すばらしいと思いました。

### 誰でも声かけができる社会がいいなあ

9月7日(金) 4:00pm~6:00

更埴中央公園で3人の男の子が、砂場で仲良く遊んでいました。「僕たち何年生？」と声をかけると、異口同音に「3年生、埴生小学校」と返事がありました。「何時に帰るの？」と聞くと、子ども達から逆に、「今何時ですか？」と聞かれました。「5時20分だよ」と答えると、「分かった」と返事がありました。「何時に帰るの？」と再度聞くと、「もうすぐ帰る」との返事でした。その内に、ヘルメットをかぶり3人とも自転車に乗り公園を後にしました。仲の良い友達だなあと思いました。

## 編集室の窓

### 「お前は絵は下手だが、構図が一番いい」～ひとことの重み

今回のコラム欄では、「人の育ち」について考えさせられました。現実の厳しさを知るからこそ「温かい目」で「手を差し伸べて」、過ちを犯した人々の立ち直りを支える地域・社会であって欲しいと、私達にメッセージを送っていただきました。人が変わるきっかけ、…「島 秋人」を思い出しました。

「島 秋人」…ご存知でしょうか。死刑囚であり、歌人。殺人を犯しどん底にあった人生が変わっていくきっかけは、誉め言葉にありました。貧しさの中にあつて、周囲から低能と言われ疎んじられ性格が荒みます。昭和34年4月飢えに耐えかね農家に押し入り、2000円を盗み主婦を殺害、死刑を宣告されます。25歳でした。獄中で、人生でただ一度誉められた中学校の美術の先生「吉田先生」を思い出し、手紙を書きます。そこで「短歌」の世界にふれ、時代を代表する「窪田空穂」とつながり支援を受けます。死を意識する日々、そんな中でも多くの人々の善意と励ましに支えられた獄中生活を送ります。しかし、昭和42年11月に刑が執行されます。33歳でした。その一か月後に出版された「遺愛集」に、島の開花した才能が集約されています。島は、人には無限の可能性のある事実を残して逝きました。

「温かい目」で、「手を差し伸べて」というコラムのメッセージ、死刑囚「島 秋人」に重なりました。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

### ぼくの将来の夢

1年 小山 凜

ぼくの将来の夢は、プロバスケットボール選手として、レベルの高い海外のリーグで活躍することです。しかし、今のぼくの実力ではこの夢を叶えるには、人の何倍も努力しなくては到底叶えることはできません。いや、人の何倍努力しても叶えられないかもしれないかもしれません。

しかし、ぼくはこの夢を追いかけます。なぜかというと、ぼくはバスケットが好きだからです。ぼくはよく父に「好きなことを仕事にしたら、それほど楽しい人生はない」と言われます。ぼくも一度の人生つまらない人生よりも楽しい人生がいいです。

ぼくにとってはサラリーマンになって安定した収入を得るよりも、プロバスケットボール選手という安定しない職業でも他の人よりずっと長くバスケットをやるだけでとても充実した楽しい人生なので、他の人からどんなに無理だと言われても、ぼくはこの夢を追い続けます。

### 将来の夢

1年 児玉 野恵瑠

私は将来なりたいと思っている職業が二つあります。それは、保育士と介護福祉士です。介護福祉士は、福祉交流を行ったときに、こんな仕事をしてみたいと思ったのがきっかけです。そして、私の叔母が介護福祉士をしており、この仕事のやりがいについてたくさん話を聞くので、さらに興味を持ちました。

保育士という仕事には、保育園の年少のころにはもう興味をもっていました。保育園の先生や保育士の仕事に就いている母の姿がとてもしっかり見えたからです。母が家で手遊びなどの練習をしていたり、笑顔で子どものお世話をしていたりする姿を見て、とてもあこがれました。私もこんなふうに行なえばいいのなら、きっと毎日が充実するだろうと思いました。

私は、まだどちらの仕事をしたか決めていません。しかし、自分が選んだ仕事をしっかりとやり遂げられるように、勉強に真剣に取り組んだり、今習っているピアノを一生懸命練習したりして、夢に向かって頑張りたいと思います。

### 将来の夢

1年 福山 そら

私の将来の夢は、小児科医です。私は生まれつき食物アレルギーで、乳製品を食べられません。保育園の時、友だちからもらったヤクルトを飲んでしまい、息ができなくなってしまいました。すぐに病院に行きました。すると、息が苦しくて、とっても不安な私を、お医者さんは優しく治療してくれました。

そのとても優しくて明るい小児科のお医者さんが、今でも印象に残っています。だから、私もそのときのお医者さんのように、苦しんでいる子どもたちを勇気づけられる、優しくて明るい小児科医になりたいと考えています。